

## 各市町 赤字削減・解消計画 実施状況報告書の概要

### 1 各市町 赤字削減・解消計画の概要

【単位：千円】

市町名	赤字額※	赤字削減予定額						市町の主な取組内容
		H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	
高松市	775,297	172,691	49,309	77,530	77,530	77,530	77,530	令和2年度保険料改定 ペイジー導入による口座振替促進 保険者努力支援制度等の活用 保健事業の積極的取組により医療費の適正化を図る 赤字解消目標年度：令和21年度
善通寺市	130,000	67,000	1,000	60,000	1,000	1,000	—	保険者努力支援制度による収入増、医療費適正化対策事業の推進 R4年度終了時に赤字が残っている場合、税率見直しを検討 赤字解消目標年度：令和4年度
観音寺市	205,506	100,000	5,000	5,000	10,000	5,000	5,000	保険者努力支援制度による歳入確保 医療費適正化対策事業の推進 介護保険料の見直し時期に合わせて、税率見直しを検討 赤字解消目標年度：令和9年度
直島町	18,000	1,800	1,800	2,000	3,000	4,000	5,400	保険税率を段階的に上げるが、上げ幅は毎年見直し。 保健事業や医療費適正化等に注力し、医療費の伸びを抑制。 赤字解消目標年度：令和5年度

※赤字額は、H28（2016）年度に発生した額

2 各市町 赤字削減・解消計画実施状況報告書（概要）

【単位：千円】

市町名	赤字額※	令和元年度(2019)		実施状況の詳細	今後の取組み
		削減予定額	赤字削減額		
高松市	775,297	49,309	193,283	<p>令和元年度法定外繰入金(決算補てん等目的)の決算額は、約14.8億円となった。</p> <p>①保険料収納額の減収(▲2.4億円) 携帯端末等によるスマホ収納の導入や口座振替の原則化に向けた取組を行った。</p> <p>H30年度 約76.1億円 → R1年度 約73.7億円</p> <p>②一人当たりの診療費の増大(+8,882円) 診療費 H30年度 約370億円 → R1年度 約364億円 被保険者数 H30年度 85,491人 → R1年度 82,404人</p> <p>③保険者努力支援制度や特別調整交付金の増収(約1.2億円) 結核精神に係る診療報酬明細書調査集計業務等による増収 H30年度 約5.3億円 → R1年度 約6.5億円</p>	<p>①保険料の適正化や保険料収納額の増収 令和2年度に保険料改定を行った。今後、ページ口座振替受付サービスの導入による保険料の口座振替推進に向けた取組を推進して、保険料収納額の増収に努める。</p> <p>②医療費の適正化 被保険者数の減少に伴い、全体の診療費も減少しているが、高齢化の進展や医療技術の高度化により、一人当たりの診療費は増大しているため、各種保健事業に積極的に取り組み、医療費の適正化を図り、国保財政の健全化につなげる。</p> <p>③県支出金等の更なる公費の獲得 国の保険者努力支援制度や特別調整交付金、都道府県繰入金等について、対象事業内容の総点検及び必要に応じ見直しを行い、積極的に財源確保に取り組む。令和2年度の特別交付金(ヘルスアップ)等の交付額を増収予定。</p>
善通寺市	130,000	1,000	4,000	<p>令和元年度における決算補てん等目的の法定外繰入額は56,000千円であった。赤字の削減予定額は、1,000千円であったため、予定よりも3,000千円多く赤字を削減できた。</p>	<p>保険者努力支援制度交付金の収入増と医療費適正化を重点項目として、取組を行う。</p> <p>令和4年度終了時に赤字が残っている場合、国保税率の見直しも検討する。</p>
観音寺市	205,506	5,000	▲ 18,896	<p>平成28年度は205,506千円の法定外繰入を行ったが、平成30年度実績では89,810千円であった。これは、平成29年度療養給付費等負担金の返還金であり、115,696千円削減することが出来た。令和元年度実績では、108,706千円となり、赤字削減額は前年度より増加した。被保険者数の減(▲386人)により国保税収入は減少したが、保険給付は伸びたことが影響している。</p>	<p>今後も調整交付金の結核精神での財源確保に取り組んでいく。さらに、特定健診の未受診者対策を強化し、受診率向上による保険者努力支援制度での財源確保を目指す。</p> <p>令和3年度には、介護保険料の見直し時期と同時期に国保税の税率改正も検討していたが、新型コロナウイルスの影響により断念した。今後、この影響を注視しつつ、再度税率改正を検討することとする。</p>
直島町	18,000	1,800	▲ 13,000	<p>県が示す標準保険料率に近づけるため、保険税率を変更している。資産割に関しては、不平等感が強く、税率を下げています。特定健診の令和元年度の実受診率は43.4%で、ほぼ例年通りの数値を維持している。</p>	<p>令和5年度までの4年間で県が示す標準保険料率まで保険税率を上げていく。その間、一般会計からの法定外繰入もやむを得ないと考えている。健康づくりなどの保健事業や医療費適正化、特定健診だけではなく特定保健指導にも注力し、加入者の生活の質の維持及び向上を図りながら、医療費の伸びの抑制をしていきたい。</p>

※赤字額は、H28（2016）年度に発生した額